



依遅ヶ尾山から吹き下ろす寒風は 白銀の世界へと変貌させました。

ついこの間まで、正月気分が、なかなか抜けないなあと、
こぼしていたように思うのですが…。

光陰矢の如し、とはよく言ったもの。はや、もう

「鬼は外、福は内」の音が聞こえてくるころとなりました。



小6 体験授業・入学説明会の実施<1月26日>、授業を受ける小学6年生！集中。



*今年は予定通り、次年度入学予定児童(宇川小8人・丹後小23人計 31人)が、中学校の教科担任(理科、英語)による授業を体験しました。その後、保護者とともに中学校生活について、説明を

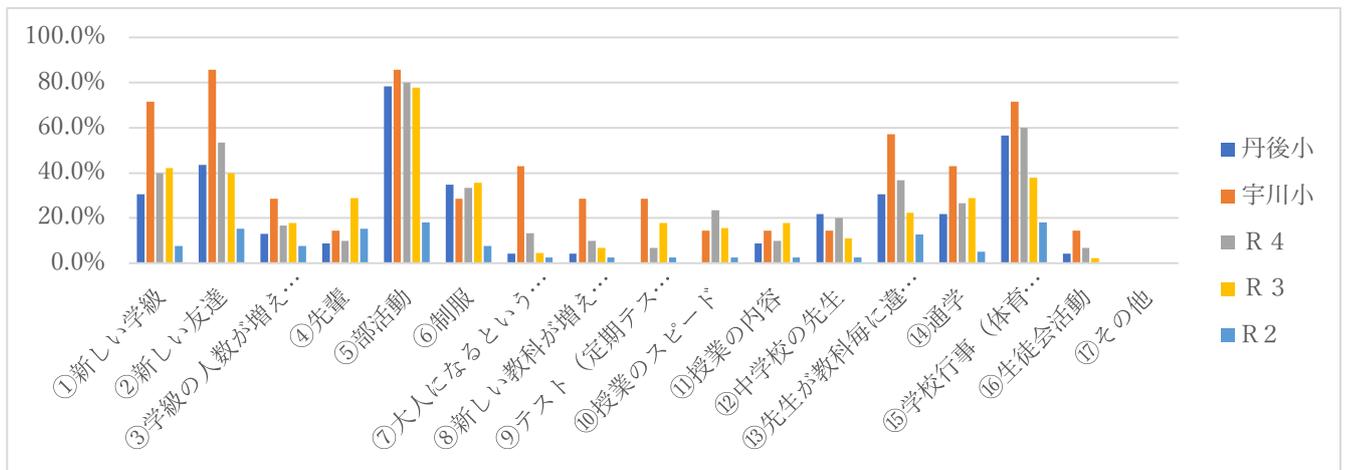


聞きました。

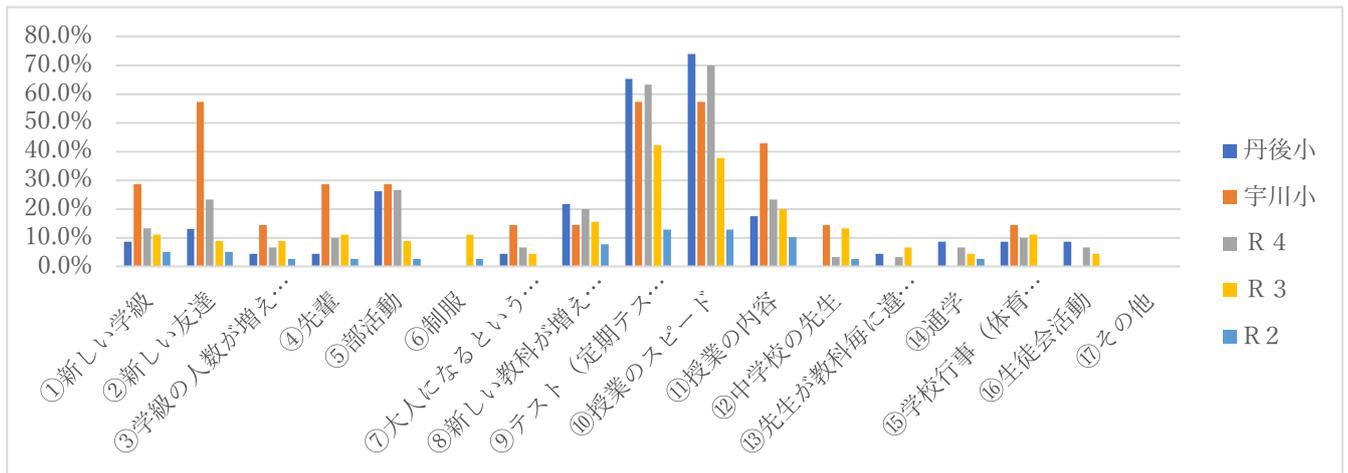


*体験授業を受ける前に、小6児童対象に「もうすぐ中学生アンケート」を行いました結果、下記の通りでした。※部活動や体育祭等は楽しみ、勉強は不安…、部活動も少し不安…。

楽しんでいること ベスト3 ①部活動 ②学校行事 ③新しい友達



不安なこと ベスト3 ①授業のスピード ②定期テスト ③部活動

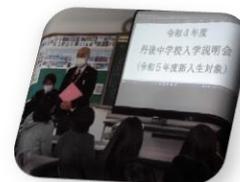


*しかし、授業体験のあと、わかりやすい説明であったことや聞くだけでなく他校の友達と相談しながら取組んでいくこともできたので中学校の授業が楽しみに思えた感想をもった児童もいました。



英語の授業では、先生から

「FROM ナウ ドント スピーク ジャパニーズ！」と
指示をされるやいなや習得してきた英単語を友達と交流
し合っ、他己紹介の文章を作成していきました。理科、英語
の授業のどちらも物おじすることなく自分の思いを発表している



多くの児童の姿が見られました。互いの思いを共感し、相手を受け入れる気持ちを感じられました。



4歳児と5歳児の交流～みんなでのしくあそべたよ！

1月17日には、異年齢の集団で交流しました！

5歳児が遊びの先導やルールの提案等を行いながら、楽しい時を過ごせるように

工夫して遊びました。(◆わかりやすく伝えるには・・・◆自分のことをわかってもらうには・・・等々)



紙を丸めてドッジボール大会・・・逃げろ、逃げろ。駒回し、ねらいを定めてエイっ！すごろくにトランプ、勝つてうれしい、負けて悔しい、、、こうして、遊びの時間の中で、みんなで遊ぶ楽しい時間を学んでいきました！

第33回丹後町青少年意見発表大会

夢、希望、幸せ、京丹後！を考える児童生徒。

丹後町青少年意見発表大会



1月18日(水)、丹後地域公民館で行われました。

*入場は、発表者の保護者、学校運営協議会委員のみ、町内小・中学生は各自教室等でリモートにて視聴。



講評(抜粋) 丹後学園代表 日野竹夫 校長

7名の発表者の皆さん、どの発表もすばらしい発表でした。丹後学園が目指している子どもの姿は、「豊かな心をもって、未来に向かって自分の判断に基づいて行動できる子ども」です。皆さんの発表は、自分の考え方・感じ方をしっかり持って、発表することができていました。

一つ目は、増田 愛莉（ますだ あいり）さんと大澤 栞奈（おおさわ かな）さんの発表にあった「**自分たちが住む京丹後、特に丹後町**」についてです。

増田 愛莉（ますだ あいり）さんは、「宇川の魅力」は何ととっても海であり、「海がきれいに見えるスポット」を紹介してくれました。そして、魅力いっぱいの海が、少しずつ汚れていっていることに危機感を持ち、今、私にできることは、「必ずゴミを持ち帰る」「出たゴミを分別する」「できる限りゴミを

出さない」と考え、身近なところから取り組みたいと決意を発表しました。

大澤 栞奈（おおさわ かな）さんは、過疎化が進んでいる町や村でも、アイデア次第で変わることができるので、京丹後の自然や食文化、長寿の秘訣、移住してきた人達の生の声などの発信や、新鮮な魚や野菜のインターネット販売など、伝統を大切に守り前進できるアイデアを、私たちが考えることだけでも、京丹後市の少子高齢化を解決する一歩になると締めくくりました。



二人の発表は、ともに、丹後町の自然や風景、食べ物、故郷としての魅力を今も未来も大切にしていくためにどうしたらよいか、それぞれに豊かに表現されていました。私も、丹後に住む一人としてうれしく思いました。

二つ目は、今田 緑里（いまだ みどり）さんと西村 桜紀（にしむら さき）さんの発表にあった、「**誰もが幸せになれる社会**」に関わる内容の発表でした。

今田 緑里（いまだ みどり）さんは、今、私にできることは、挨拶をすること、地域の行事に参加するなど、コミュニケーションをとることで小さな変化やSOSに気づくこと、家族、友達、地域を大切に、相談できる関係を築くこと。自分の身近な人から大切にしていくことで、社会が明るくなり、犯罪の起きない社会になってほしいと発表しました。

西村 桜紀（にしむら さき）さんは、「戦争をしている国があるかぎり、どの国も安心はできない」と訴え、将来、夢をあきらめない人になりたいと思っている桜紀（さき）さんは、同じように、「こう生きたい」「こんな人になりたい」と思っているたくさんの子どもの願いに答えるためにも、どこの国のどんな子どもも、自由に平和に生きていけるように、一人一人が考えていくことが大切であると発表しました。



二人の発表は、難しいと思えることに直面しても、それを乗り越えるためにどうすればよいか、うまくいかなくてもどこがいけなかったかをよく考え、希望をもって前へ進むことの大切さが表現されていました。

そして、三つ目の内容は、大澤 賢登（おおさわ けん）くん、大西 湊人（おおにしみなと）くん、山崎 紗也音（やまざき さやね）さんの発表にあった、「**仲間・希望・夢**」についての発表です。



大澤 賢登（おおさわ けんと）くんは、仲間と切磋琢磨しながら日々努力すること、目標を立てること、仲間との絆を深めることの大切さを訴え、人と関わることはこれから社会に出ていく中で必要不可欠なことであり、感謝の気持ちを伝えたり、感謝される行動が普通にできる優しくて頼りになる大人を目指したいと決意しました。

大西 湊人（おおにし みなと）くんは、三年生から始めた野球の仲間、走る・打つ・守るがすごいだけでなく、練習にも積極的で、疲れた仲間などを元気付けてくれる友達。自主練の成果を試合で出している努力家だけでなく、仲間が怪我をした時など、すぐにそこについて優しく声をかけてあげる友達。そんな仲間を目標に、野球の練習をがんばって、もっともっとうまくなりたいと発表しました。

山崎 紗也音（やまざき さやね）さんは、おばあちゃんに教わった「失敗しても大丈夫」という言葉から勇気や元気をもらっています。

そして、獣医師や犬や猫の保護ボランティアになるという将来の夢に向かって、これから失敗や戸惑いを繰り返しながらも、「失敗しても大丈夫」という言葉を座右の銘として頑張っていく決意を示しました。

三人の発表は、未来を生きる子どもたちにとって、新しい価値とどう向き合っていくのかを考えるきっかけや、学校で学んだことを社会で通じる自分の力にしていけるため、学び続けることの大切さが表現されていました。

7名の皆さん、本当に素晴らしい発表をありがとうございました。

最後になりましたが、この発表大会が素晴らしいものとなりましたのは、発表者皆さんの頑張りとともに、会場の皆様や各学校の児童生徒の皆さんが発表を心で聴いていただいたお陰と感謝しております。

発表者の皆様、発表を聞いていただいた皆様、公民館の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げ、講評とさせていただきます。ありがとうございました。



* ↓本日の発表者へ京丹後市教育委員会より表彰状が授与されました。



* ←教室で視聴する生徒。

二次元コードをご活用ください、HPでも見る您可以通过。

お知らせ

3月2日（木）午後7時～学校運営協議会総会を予定しております。傍聴を希望する方は、丹後学園事務局（75-0126 丹後中）まで、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

